

会 見 年 月 日	令和6年8月1日(木曜日)		
担 当 課	スポーツ推進課	(担当者名:岸本・児島)	
問い合わせ先	TEL:0791-43-6869	(内線:2328)	FAX:0791-43-6895

大相撲巡業播州赤穂場所の開催について

1. 趣 旨

このたび、赤穂市では24年ぶりとなる大相撲巡業播州赤穂場所が開催されることになりました。

つきましては、本日、日本相撲協会巡業担当 大鳴戸親方及び播州赤穂場所実行委員会の市長表敬訪問を受けて、その内容を発表します。

2. 内 容

- (1) 主 催 大相撲播州赤穂場所実行委員会
- (2) 日 時 令和6年12月11日(水)
開場:午前9時 打出し(終了):午後3時
- (3) 会 場 品川リフラ赤穂市民総合体育館 競技場
- (4) チケット先行販売
日時 令和6年9月16日(月)午前9時~午後2時
場所 品川リフラ赤穂市民総合体育館
- (5) チケット一般販売
令和6年10月1日(火)から全国のチケットぴあ、ローソンチケット、イープラス 他
- (6) 問 合 せ 大相撲播州赤穂場所実行委員会
電話 0120-158-200 (平日午前10時~午後3時)
- (7) ホームページ <http://hamadai.com/>
- (8) そ の 他 詳細については、別紙を参照ください。

赤穂市記者会見資料① 2024年冬巡業大相撲播州赤穂場所

発表日 2024年8月1日(木) 情報解禁 即日

12月11日(水) 赤穂市 品川リフラ赤穂市民体育館で開催される大相撲播州赤穂場所の発表をいたします。

出席者：日本相撲協会 大鳴戸親方 播州赤穂場所実行委員会 勸進元 大原雅宏 早瀬智一

日時について

巡業開催日時 2024年12月11日(水) 午前9時開場から午後3時打出し(終了)

巡業開催場所 品川リフラ赤穂市民体育館 (来場者数約2158人)

親方について

出島武春(でじま たけはる)大鳴戸親方は、元大相撲力士で最高位は東大関、1974年3月21日(50歳)、石川県金沢市生まれです。出島は1996年に初土俵を踏み、1997年には幕内に昇進し、1999年に大関に昇進しました。得意手は押し出し、右四つ、寄り切りで、立合いからの鋭い出足を生かした速攻相撲を得意とし、多くのファンから支持を集めました。愛称は「出る出る出島」

引退後は年寄・大鳴戸を襲名し、現在の藤島部屋の部屋付きの親方として後進の指導に当たっている。

◆チケット料金

タマリ席S(記念座布団付) 16,000円(1名様分)

タマリ席A(記念座布団付) 15,000円(1名様分)

二人マス席(記念座布団付) 27,000円(2名様分)

イスA席 12,500円(1名様分)

イスB席 10,000円(1名様分)

車いす席 20,000円(車椅子の方とお付添2名様分) 先行販売及び事務局のみ販売

2階A席 8,000円 2階B席 6,000円 2階C席 5,000円(1名様分)

飲食土産セット引換券 4,000円

◆先行販売について

日時 2024年9月16日(祝・月) 午前9時～午後2時

会場 品川リフラ赤穂市民体育館

詳細 座席チケットはお一人様6枚まで 午前8時より入場整理券を配布

※チケット販売は9時より整理番号順に販売

※直接販売のみ、現金のみ

※3歳から入場券が必要です。3歳未満のお子様でもお席が必要な場合はチケットが必要です。

◆一般販売日

2024年10月1日(火)より

チケットぴあ/ローソンチケット/イープラス 他

詳しくは大相撲興行情報をご覧ください。 <http://hamadai.com/>

お問合せ 大相撲播州赤穂場所実行委員会 フリーダイヤル 0120-158-200

(平日午前10時～午後3時)

大相撲播州赤穂場所の見どころ②

冬巡業大相撲播州赤穂場所では9：00～15：00まで1日を通し楽しめます
是非この機会ご来場ください。

◆巡業の一日◆

9：00 開場～公開稽古

開場と知らせる寄せ太鼓の響きとともに1日がはじまります

11：00 取組

序二段・三段目・幕下と若い力士の取組。

取組の間に初っ切り・相撲甚句・太鼓打分などが行われます

13：30 幕内・横綱土俵入り

豪華絢爛な化粧廻しを締めた幕内力士の土俵入り。横綱は「太刀持ち・露払い」を従えての土俵入り

13：50 幕内取組

テレビでお馴染みの力士が登場。結びの一番まで館内の盛り上がりも最高潮に

15：00 弓取式～打出し

結びの一番が終わると、弓取式で1日を締めくくります

◆催し物◆

初切（しょつきり）

2人の力士が、相撲の禁じ手や珍しい、決まり手をコミカルにわかりやすく説明します。

古く江戸時代より行われており、初切りの「初」は「始め」、「切」は「終わり」の意味です。

相撲の技を見せ技から技へと移り変わるところに妙味があります。

相撲甚句（すもうじんく）

美声力士による「相撲甚句」。昔は甚句のことを型と呼んでいました。

土俵の上で攻める型、守る型を見せながら歌っていました。

現在は化粧廻しを締め、手拍子・足の音頭に合わせて歌っています。

櫓太鼓打分（やぐらだいこうちわけ）

相撲界初の生存者叙勲を受けた、「名人呼出し太郎」がお好みとして披露をはじめたものです。

寄せ太鼓

相撲協会の前身相撲会所の時代、相談事があった時親方衆を呼び寄せる時の合図。

一番太鼓

天下泰平・五穀豊穰を祈って行われていました。清めの太鼓と言われ、昔は夜中の2時か

3時に打たれていました。

はね大鼓

相撲が終わると同時に打たれ皆様に向かい「ごきげんようお帰りください。また明日も

おいでをお待ちしています。」と打たれています。従って1日興行や千秋楽では打たれていません。